

赤ちゃんとお話するの？

まだおしゃべりしない赤ちゃんを相手に、
「まだ何もわからないのに声をかけるの？」「どう言葉がけしたらいいの？」
と思っている人もいるかもしれませんが、泣いたり、笑ったり、じっと見たり
という赤ちゃんの姿は、言葉と同じで、それに応えることでコミュニケーションが成立します。
日常生活の中の何気ないやりとりで、赤ちゃんが安心感を得て、言葉の習得につながっていきます。

どう声をかけていいかわからない時は…
今の状況を実況中継してみよう

例えば

- なにを見ているの？
- どうして泣いてるのかな
- お腹空いたかな
- 暑いかな
- 風がふいてるよ
- 鳥の音がしたね



おむつを替えるとき

- おむつ替えるよ
- ずぼんをぬぎましょ
- おしりをきれいにしようね
- あんよ（足）あげて
- ほーら、きもちいいね

など



揺さぶられ症候群に注意！！

子育てってわくわくして感動もいっぱいあるけど、赤ちゃんがいつまでも泣き止まないとき、つらくなりますね。なんとか泣き止まそうとして激しく揺さぶってしまうことがあります、「乳幼児揺さぶられ症候群」といって、命を脅かすとても危険な行為です。

ある研究では1秒間に3～4回往復するほどの激しい揺さぶりによって、頭蓋骨内に出血が起きることがわかっています。

激しく揺さぶられたことにより、頭蓋骨の内側に脳が何度も打ち付けられて、脳などが傷つき、さまざまな障がいを引き起こしてしまいます。

赤ちゃんは何をやってなきやまない時期があるとされています。あなたが悪いわけでは決してありません。

もし、泣き止まずにイライラしてしまったら、一度赤ちゃんを安全な位置で寝かし、少し赤ちゃんとの距離を置き、気持ちを落ち着かせましょう。

深呼吸したり、誰かと電話で話をする事で気持ちが落ち着いたりします。



リラククス Time



ひとりで抱え込まず、お電話ください。メールでの相談も受け付けています。

子育て包括支援センター

0476-37-7185

Eメールアドレス

kosodate@town.sakae.chiba.jp

メールを送信するかたは、件名に「相談 (氏名) OOOO」と入れてください。